

加 茂 名 南 小 学 校 総 括 評 価 表

(No.1)

重点課題	重点目標	自己評価		学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
		評価指数と活動計画	評価	学校関係者の意見	
確かな学力の育成	①「学習のめあて」と「振り返り」を重視し、学習の流れの確立を図る。 ②基礎的基本的な知識・技能の確実な習得をめざし、個の学習状況の把握を図り、個別指導等具体的な対応を行う。 ③アクティブ・ラーニングの視点に立ち、授業内容や学習方法を工夫する。 ④カリキュラム・マネジメントの視点から総合的な学習の年間計画を見直し、体験活動の充実により自ら学習に取り組む意欲の向上を図る。 ⑤読書活動を充実する。 ⑥特別な支援を必要とする児童へ指導・支援を充実する。 ⑦「家庭学習の手引き」・「学力向上だより」を活用し、家庭と連携しながら、児童の家庭学習の定着を図る。	評価指数 ①「学習がよくわかる」と回答の児童が90%以上。また、「お子様は学習していることがよくわかっている」と回答の保護者が90%以上。 ②「基礎的基本的な学習を理解している」と回答の教師のポイントが昨年度を上回る。 ③「自分の思いや考えを伝える力が育っている」と回答する教師のポイントが昨年度を上回る。 ④児童の取り組みについて、毎月1回学年だより等で紹介する。 ⑤「進んで読書をしようとしている」と回答する教師のポイントが昨年度を上回る。また、読書が好きな児童が70%以上。 ⑥「校内の支援体制が有効に機能している」と回答の教師のポイントが昨年度を上回る。 ⑦「宿題や家庭学習を進んでしている」のポイントが80%以上にする。	評価指数の達成度 ①児童86%、保護者78%で達成できなかった。 ②教師1.9(昨年1.9)で上回る現状を維持することができた。 ③教師57.1%(昨年65.6%)で達成できなかった。 ④学年だより、学校ホームページで活動を紹介することができた。 ⑤教師の評価は1.6(昨年1.8)で達成できなかった。読書が好きな児童は、69%(昨年73.4%)で達成できなかった。 ⑥教師2.2(昨年2.2)で達成できなかったが、数値は高い。 ⑦児童82%(昨年87.2%)、保護者81%(昨年80.1%)で達成できた。	総合評定 (評定) B	○気になる学年があるが、先生方の対応の工夫は理解できる。子どもたちの授業に対する姿勢や取り組み方についてこれまでの成果を生かして根気よく対応していただきたい。 ○TTの指導により学習が遅れている児童への指導が効果的に働いていると思った。 ○電子黒板等の機器についてはどの学年どのクラスでも有効に使われていた。ICT機器については普通に活用できるようになってきている。 ○どのクラスの授業も板書の工夫が見られ、児童のノートを意識した板書であった。方眼ノートを全教科で使用していることが効果を現しているのではないかと。その時間の学習が振り返りやすくなるようなノート指導、板書の工夫を今後も続けて欲しい。
		活動計画 ①板書の工夫によるノート指導の充実。 ②-1朝の活動の充実を図る。 ②-2繰り返し学習、家庭学習を充実する。 ②-3算数科におけるTT指導の充実を図る。 ③学習意欲を高める指導方法の工夫改善を行う。 ④体験活動の取り入れの授業の充実を図ることにより思考力・判断力・表現力を育成する。 ⑤図書の実践と整理。ボランティアの活用。 ⑥-1特別支援教育の充実を図るため、適切な就学指導を実施する。 ⑥-2個に応じた指導改善を図る。 ⑦「家庭学習の手引き」等発行文書について学年、学校内で共通理解を図り、家庭訪問、懇談等で説明する。	活動計画の実施状況 ①授業研究会で検証し、共通理解を図った。 ②朝の活動を8時10分スタートとし、基礎的・基本的事項の習得を図った。TT指導により児童の学習状況をきめ細かに把握した。 ③タブレットPC等ICTの活用を試行した。 ④地域の方やゲストティーチャー等を積極的に活用し、地域社会との交流(地域の探検や施設の見学)を通してコミュニケーション能力の育成を図った。 ⑤昼休みには交代で図書室に教員が駐在し、読書活動を勧めた。「なんなんお話ポケット」による読み聞かせを実施。 ⑥特別支援コーディネーターを複数配置し、有効に機能する校内支援体制づくりを継続して行った。 ⑦学年便りの中での紹介だけでなく、良い例(ノート等)の紹介も積極的に行った。	(所見) ○どの教科においても「学習のめあて」と「ふりかえり」を明確にし、発問計画や板書計画にも積極的に取り組み、わかる授業の工夫改善に努めた。その結果、少しずつではあるがノートの取り方、学習への取組の仕方に向上が見られるようになった。 ○自己肯定感について教員の間で共通理解を進めることができた。カリキュラム・マネジメントと合わせて取り組んでいくことで自分以外の意見を大切に学習環境づくりに取り組みたい。	
豊かな心の育成	①自分の思いを伝え、また友達の気持ちも理解できるようにする。 ②集会活動やボランティア活動等の充実を図り、豊かな心や主体的な態度を育てる。 ③気持ちのよい挨拶や「はい」の返事ができるようにする。 ④「0分スタート」を徹底し、学習リズムの定着を図る。 ⑤落ち着いて話を聞き、集中して取り組む等けじめのある態度を育てる。 ⑥地域の自然や文化・人々との関わりを大切にする。	評価指標 ①「子どもたちに友達を思いやる優しい気持ちが育っている。」の教師のポイントが2.0以上で、昨年を上回る。 ②「集会・ボランティア活動の充実を図ることができた。」の教師のポイントが85%以上にする。 ③「あいさつや正しいことばづかいができていく。」の回答の児童80%以上、保護者80%以上、教師のポイントが昨年を上回る。 ④「0分スタート」の取り組みを徹底する。 ⑤「学習のきまりや生活のきまりを守っている。」の回答の児童が80%以上、保護者80%以上。教師のポイントが昨年を上回る。 ⑥「地域と連携協力した取組を積極的に取り入れることができる。」のポイントが昨年度を上回る。	評価指数の達成度 ①教師のポイントは、1.8(昨年1.8)で達成できなかった。昨年と同レベルであった。 ②教師のポイントは、77.1%(昨年87.5%)で達成することはできなかった。 ③児童の回答は78%で達成できなかった。保護者の回答は77%で達成できなかった。教師のポイントは34.3%(昨年67.7%)で達成できなかった。 ④「0分スタート」を全学級で取り組んだ。 ⑤きまりを守っている児童が87%、保護者の回答は88%で達成できた。教師は1.5(昨年1.9)で達成できなかった。 ⑥達成率57%(昨年93.9%)で達成できなかった。	(評定) C	○児童に寄り添う指導により少しずつ心を開いている児童も見られるのではないかと。学年が上がるにつれて難しくなる対応を今後も工夫して欲しい。 ○服装の乱れは、心の乱れにつながる。服装について、徹底した指導をしてもらうと中学校も助かる。中学校との連携も大切である。 ○服装については、保護者の関心も高い。細かくなりすぎてもいけないし、基準がはっきりしないのも困る。
		活動計画 ①人権尊重を基本においた教育活動や学級経営を行う。 ②児童会活動による集会・ボランティア活動等の充実を図る。 ③あいさつ運動の実施。 ④学習のきまりや生活のきまりを児童に指導。 ⑤基本的な学習規律の定着を全教職員共通理解のもと進める。 ⑥地域と連携協力した取組を積極的に取り入れる。	活動計画の実施状況 ①一人一人の児童の思いや願いを把握して生徒指導にあたり、全ての教育活動において人権感覚を高める指導を行うよう努力した。 ②自主的な児童会活動ができるように指導・支援を継続して行った。 ③委員会が中心となり、あいさつ運動を行った。教師も立哨箇所で行った。 ④三部会での話し合いを積極的に行い、全教職員の共通理解を図り、指導した。 ⑤規律定着の現状について学期ごとに共通理解を図った。 ⑥地域の探検や公共施設の見学などを通して地域理解を深めた。また、地域の人材を積極的に活用した。	(所見) ○学校評価における児童アンケートでは、いじめにつながる問題行動は減少している。 ○児童の自主的なあいさつ運動や朝の奉仕活動により気持ちのいい朝のスタートとなっている。 ○三部会での話し合いを共有化することで、組織的な対応・指導ができた。	

加 茂 名 南 小 学 校 総 括 評 価 表

(No.2)

重点課題	重点目標	自 己 評 価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
		評価指数と活動計画	評 価 指 標		
<p>健やかな体の育成</p>	<p>①体を動かす楽しさが味わえるような工夫し、体力の向上を図る。</p> <p>②外遊びや徒歩による登下校を推進する。</p> <p>③「早寝・早起き・朝ご飯」を推進し、食育や健康・安全に関する学習を充実する。</p> <p>④安全教育や防災教育を推進し、子ども自ら安全な行動がとれるようにする。</p>	<p>評価指標</p> <p>①-1 新体力テストでD,E評価を30%未満にする。 ①-2 「運動の楽しさを味わえるように授業を工夫することができた。」教師のポイントが80%以上。 ② 「休み時間に外で元気に遊んでいる」と回答の児童が昨年より上回る。 ③ 「早寝・早起き・朝ご飯」ができて回答の児童85%以上、保護者85%以上。 ④避難訓練の意義の理解と迅速静粛な避難行動。</p> <p>活動計画</p> <p>①運動の楽しさが味わえるように授業等を工夫する。</p> <p>②休み時間の確保。徒歩登下校の保護者への協力要請。</p> <p>③「早寝・早起き・朝ご飯」の保護者への啓発と協力要請。</p> <p>④学期ごとの避難訓練の実施とその意義指導</p>	<p>評価指数の達成度</p> <p>①-1 新体力テストの結果4年(40%),5年(31%),6年(32%)で、達成できなかった。 ①-2 授業の工夫改善については85.7%で達成した。 ②児童の回答は68%(昨年70.9%)で達成できなかった。 ③児童は76%,保護者は83%で達成できなかった。 ④迅速静粛な避難行動をとることができた。</p> <p>活動計画の実施状況</p> <p>①-1 学校独自の体育科カリキュラムの作成 ①-2 体力向上を支援する体育授業の工夫改善 ①-3 小体連3事業・クロスカントリー・駅伝大会への練習参加の奨励 ①-4 「全校なわとび集会」の実施、「元気アップチャレンジランキング」への参加 ②-1 運動遊びの奨励 ②-2 教師が率先して外で児童と遊ぶ。 ③学年だより等で徒歩通学の奨励、朝食の重要性、睡眠時間の確保の有効性を伝える。 ④学期ごとの避難訓練の実施と反省、改善。</p>	<p>(評定) B</p> <p>(所見) ○新体力テストの結果は、全体的に見るとややさがっているが、男子は今年度の方が向上している。特に体力の優れている児童が見られることが特徴である。 ○回答数以上に季節に合わせた外遊びが見られるようになってきている。教師の指導により活動時間も守れる児童が増えてきた。</p>	<p>○しっかり外遊びをする児童が多数見られた。体力向上の基本である「早寝・早起き・朝ご飯」とともにこれからも大切にして欲しい。</p> <p>○登下校は、徒歩通学が基本である。自分の足で歩かなければ体力はつかない。車での送り迎えは、子どものためにならない。</p> <p>○食育リーダーを中心に食育を推進する。</p> <p>○健康・安全教育の充実を図る。</p>
<p>信頼される学校づくり</p>	<p>①学校教育活動アンケートを実施し、学校教育活動の改善に努める。</p> <p>②ホームページ等で学校での教育活動の様子を積極的に発信する。</p> <p>③学校行事等への積極的参加を呼びかける。</p> <p>④「加茂名南小子ども安全見守り隊」等の学校安全体制を充実する。</p>	<p>評価指標</p> <p>①学校行事後に教職員や保護者にアンケートを実施。 ②-1 ホームページの更新を最低1ヶ月に1回と学校行事等の様子を写真等で発信する。 ②-2 「学校は経営方針や教育活動等をわかりやすく伝えている。」と回答の保護者が80%以上 ③-1 学校行事等への参加者を案内文書で呼びかける。 ③-2 「地域と連携協力した取組を積極的に取り入れることができています。」と回答した教職員のポイントが昨年を上回る。 ④地域や保護者の協力と教職員の校区内巡視を1ヶ月に1回以上実施する。</p> <p>活動計画</p> <p>①学校行事終了後に教職員、保護者や参加者にアンケートの実施。また、学校評価(教職員、児童、保護者)の実施。学校関係者評価の実施。</p> <p>②ホームページ、「学校だより」「学年だより」による教育活動の発信。</p> <p>③地域や関係諸機関との連携による行事の実施。</p> <p>④-1 地域ボランティアの「子ども安全見守り隊」によるパトロールを実施。</p> <p>④-2 教職員の定期的な下校時の校区内巡視を行う。</p>	<p>評価指数の達成度</p> <p>①-1 学校行事について教職員は実施でき、改善に繋げることができた。保護者については、オープンスクール週間中に実施し、意見を求めた。 ①-2 保護者への案内を文書とメールで送付したことで参加者が増えた。「6年生を送る会」は、6年生保護者にも案内し、参観してもらえた。 ②-1 学校行事を実施後、ホームページへの掲載ができた。 ②-2 保護者84%(昨年度74%)で達成できた。 ③-2 教職員2.2(昨年2.2)で達成できた。 ④登下校の見守り隊による巡視を毎日実施できた。教職員も下校指導を実施した。不審者情報は少なく、児童が被害に遭うことはなかった。</p> <p>活動計画の実施状況</p> <p>①教職員は、学校行事終了後のアンケートを実施できた。「保護者」「児童」「教職員」によるアンケート(学校評価)を実施。アンケート結果を保護者に報告。学校関係者評価も実施できた。 ②ホームページを更新し、「学校だより」「学年だより」を定期的に発行する。 ③「夏のお話会」「PTA文化祭」「星空観察会」を実施。 ④-1 17人の方が登録し、登下校時にパトロールを実施した。 ④-2 学校安全の日等、適宜巡視を行った。</p>	<p>(評定) B</p> <p>○学校ホームページによる情報発信を行った。</p> <p>○PTAや地域と連携した学校行事や地域行事(文化祭、どんど焼き、星空観察会等)を実施し、連携を深めた。</p> <p>○地域の方によるパトロールで不審者に対する抑止力となっている。</p> <p>○オープンスクール週間を実施し、普段の学校生活を参観してもらうことができた。</p>	<p>○先生方は、信頼される学校づくりのために、日々努力している。</p> <p>○子どもたちや地域の実態に合った教育活動がなされている。</p> <p>○見守り隊の巡視によって、不審者への抑止力になっている。</p> <p>○地域との連携によって、一体となって子どもを育ててほしい。</p> <p>○保護者、地域、関係諸機関との一層の連携を図る。</p> <p>○「読み聞かせボランティア」や「子ども安全見守り隊」の活動について、今後も協力要請していく。</p> <p>○オープンスクール週間や学校行事等を通して、幅広く教育活動を参観してもらおう。また、アンケート等により意見を求める。</p> <p>○ホームページについて、内容の充実を図り、定期的に更新するなどして、積極的に情報発信する。</p>

「評定」の基準 A：十分達成できた B：おおむね達成できた C：達成できなかった